

小中一貫教育本格実施！ 町内5学園、開園！

# 小中一貫・CS 通信

NO.9 R1.12.23

幕別町教育委員会 学校教育推進員

最低気温がマイナス二桁になる冬本番となりました。24日には2学期の終業式が行われ、小中一貫・CS元年である令和元年も年の瀬を迎えます。忙しい日々の中、各学園で小中一貫教育の取組を大きく進めていただいたこと、様々な情報をお寄せくださったことに心より感謝いたします。来年もよろしくお願いたします。さて、令和元年最後の今月号は、実践交流会のトリを飾る糠内学園の様子を中心にお伝えします。

## 糠内学園教育実践交流会！ 糠内中 11/29(金)

11月29日(金)、糠内学園教育実践交流会が糠内中学校を会場に開催されました。糠内学園では、学園の研究テーマ「主体的に学ぶ子どもの育成をめざす」が定められていて、それを受けて糠内中学校の研究主題「確かな学力を身に付け主体的に学ぶ生徒の育成～対話的な授業展開を通して～」が掲げられています。この日、1年生は理科、2年生は英語、3年生は数学と、全学年の主体的・対話的な授業の様子が公開されました。どの学年も、興味関心を喚起し見通しをもたせる課題提示やグループでの話し合いに取り組み、主体的・対話的で深い学びへの工夫がみられる授業となっていました。



その後行われた開会式では中村学園長、菅野教育長が挨拶。続いて高橋研究部長による研究発表、



最後に分科会・全体協議が行われました。数学、英語、理科の3つのテーブルに分かれて熱心な協議が続きました。主体的な学びと対話的な学びのそれぞれの視点から授業検討がなされ、小中のつながりを意識した意見交流もなされるなど、充実した話し合いとなりました。最後に、まとめとして、助言者の帯広市立啓西小学校の橋場仁校長先生より、主体的・対話的で深い学びについて助言をいただきました。

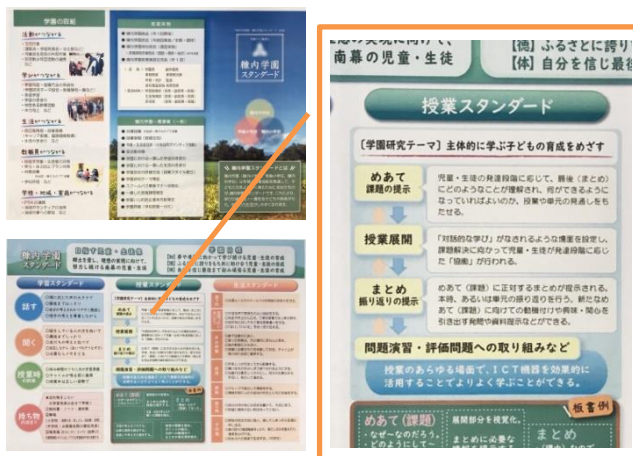
今回の実践交流会は、公開授業から開会式、助言者まで、研究大会の要素すべてを網羅した研究会となりました。規模的に

も歴史的・地域的にも最も有利な条件をもつ糠内学園がこの実践交流会を機に小中一貫教育を一層推進することを期待しています。

## 糠内学園スタンダード完成！

糠内学園が検討を重ねていた学園統一のきまり「糠内学園スタンダード」がこのほど完成しました。3つのスタンダードがあり、学習スタンダード、生活スタンダードは子ども達が、授業スタンダードは先生方が守るべき基準として示され板書例もつけられています。

印刷物は両面印刷の三つ折りタイプで、学園要覧の要素も併せもち、これを見ると糠内学園の目標や目指す子ども像、取組などがすべてわかるようになっています。現在公募中の学園マークが決定すれば、本当の完成版が出来上がる予定です。



裏に続きます

## 第2回小中一貫教育・CS連絡会議 開催！ 12/17(火)

12月17日(火)の夜、2回目の小中一貫教育・CS連絡会議が札内コミュニティプラザで開かれました。

今年度から本格実施された小中一貫教育について各学園の成果と課題をまとめたものを報告し合い、コミュニティ・スクールの進捗状況についても情報交流しました。町内各学園の状況を概観すると、小中一貫教育の具体的取組が拡大し、次第に形となってきていることが分かります。また、運営協議会の論議の中で貴重な意見が出されていることも確認されました。

一方、まだまだ保護者・地域への周知・理解が進んでいないという課題があり、取組の強化が求められています。また、コミュニティ・スクール導入により、年度末・年度初めの業務の前倒しも必要となり、それに対応する体制作りも急がれます。様々な成果と課題が明らかになった今回の連絡会議、小中一貫教育・CSの一層の基盤づくりを確認し合う重要な機会となりました。



## 札内東学園小小連携進む！ 心に響く道徳推進事業 12/5

白人小学校で外部講師を招いての「心に響く道徳推進事業」が開かれ、そこに札内北小の5年生



も参加しました。講師は柳月の相談役深瀬光正さんで、これまでたくさんの従業員を見てきた中でとらえた、仕事をするうえでの大切な心構えを話してくださいました。子ども達は、熱心にメモを取りながら聞き入り、時々繰り出される質問にも積極的に手を挙げ、前に出て堂々と意見を述べていました。白人小、札内北小の子ども達は、お互いの学ぶ姿を見合うことで交流を深めていました。小学校同士の交流は中学校登校の時の6年生の交流ぐらいしかありませんでしたので、今回の取組はお互いを知り合う、とてもいい機会となりました。

## これぞ、CSそのもの！ 途別小もちつき集会 12/6

12月6日(金)、途別小学校のもちつき集会が開かれました。事前の準備から当日の作業、片付けまで、保護者・地域のたくさんの方々が協力し、学校から招待された稲の先生、畑の先生をはじめとする地域のお年寄りの方々もたくさん参加され、地域の一大イベントとなっています。



餅つきを知り尽くしたさつない学園長福田校長(札内中学校長)も朝から作業に加わり、子ども達の食農教育を支える外部講師の十勝大福本舗やあんこ協会の方々、苗を提供して下さった農家さんなども参加、一回り広い地域で学校を支える具体的な姿が見られました。まさに、これぞCS！と言える取組です。こうした伝統的な財産を生かしながらCSを充実させていきたいものです。



### 小中一貫教育・CS関係 1月の動き

1月14日(火) ちゅうるい学園合同部会

1月24日(金) さつない学園合同英語検定